

東北歴史博物館中長期目標

令和2年度自己評価(3月末現在)

令和3年3月

東北歴史博物館

取り組みの概要

I 目的

開館以来の博物館を取り巻く環境の変化や平成23年3月に発生した東日本大震災への対応という課題に取り組むため、平成11年10月開館時に策定された運営基本方針を基礎として、中長期に取り組む活動方針と達成目標を平成25年度からの5年間を中長期目標(前期)、平成30年度からの5年間を中長期目標(後期)と位置づけ、より魅力的な博物館を目指して取り組みを進めてきました。

II 計画期間

中長期目標(前期) = 中期 平成25年度～平成29年度までの5年間

中長期目標(後期) = 中期 平成30年度～令和4年度までの5年間

III 取り組み項目

後期の取組目標については、長期的な視点から活動方針等の大きな枠組みは変更しないものの、前期の達成状況と新たな課題を見極めた以下の9つの項目に16の活動方針と31の達成目標を設定しました。

重点目標として「"み"たい博物館情報の創造(はくぶつかん情報創造プロジェクト)」と「東日本大震災対応」の2つを柱に据え、関連する個別の達成目標を重点事業に位置付けました。

「"み"たい博物館」をテーマに県民、その他すべての人々を対象として博物館の利用促進を図るためには、展示、教育普及、調査研究、資料整理、広報、来館者サービス、施設・環境整備など、すべての博物館活動を「発信・提供すべき価値」と「魅力ある情報」と位置付け、人々を魅了し「"み"たい」をくすぐる博物館活動の創造を目指すものです。

- 1 常設展示・企画展示
- 2 教育普及
- 3 調査・研究
- 4 資料の収集と保管・活用
- 5 情報の発信
- 6 県民参加
- 7 施設の整備・管理
- 8 組織・人員
- 9 東日本大震災対応

IV 結果概要

取り組みの達成度は、全職員で行った職員自己評価の結果を基に、館としての評価を中長期目標達成推進委員会(館長、副館長、部班長で構成)でまとめました。

評価にあたっては、評価基準を「4：十分達成されている」、「3：ほぼ達成されている」、「2：やや不十分である」、「1：不十分である」の4段階としました。

総合評価は、「ほぼ達成されている」であり、各分野で設定した目標に対して取組みが進んだものと評価しています。

個別の評価では、31の目標中、28の目標で「ほぼ達成されている」と評価しておりますが、「達成目標①」については「やや不十分である」、「達成目標④」については「十分達成されている」という結果となっております。

なお、「達成目標②」については、新型コロナウイルス感染症の影響により取組が不能となったことから、評価の対象から除外しております。